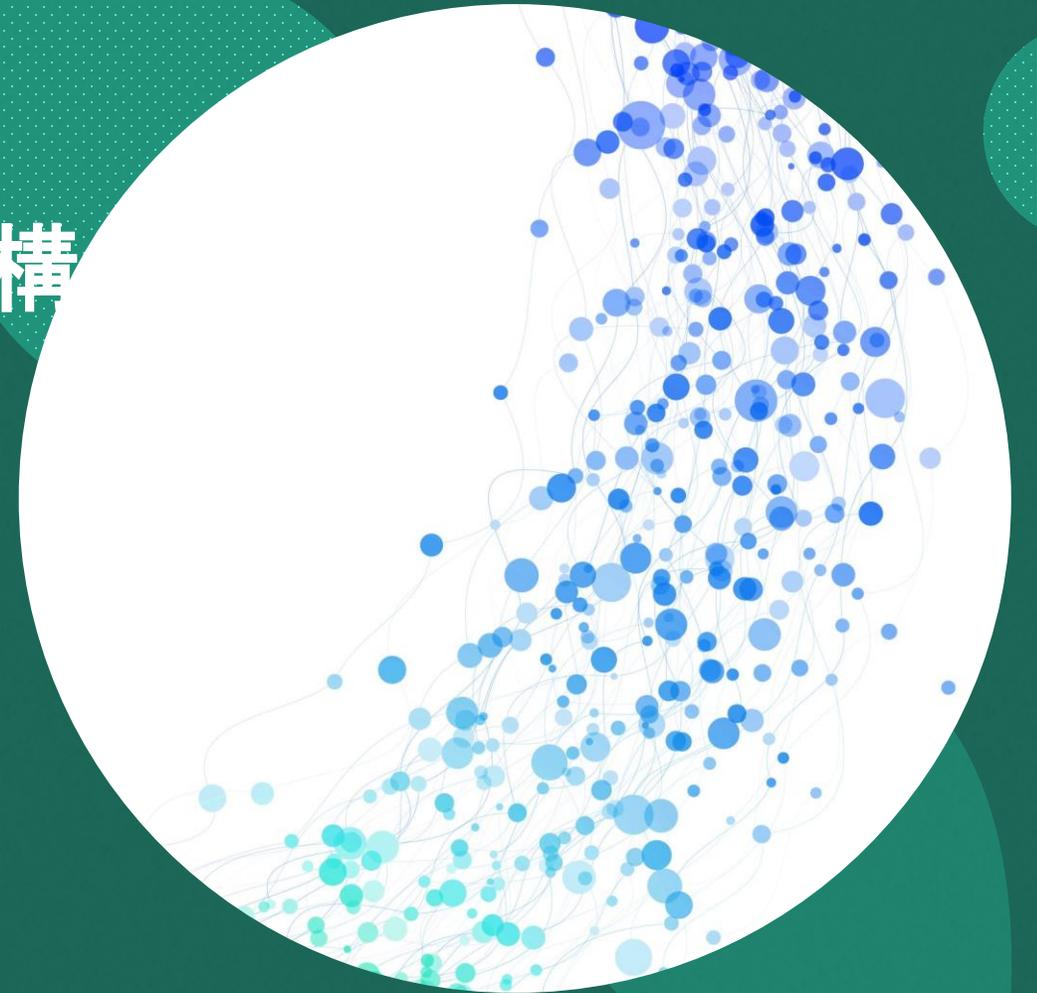


全国災害復興支援士業連絡会
設立大会

近畿災害対策まちづくり支援機構
活動報告

2021年5月15日

代表・野崎隆一



大阪からやってきた
ワンパック専門家相談隊
が始まりだった。

弁護士・建築士・司法書士・
まちづくりコンサルタント・
土地家屋調査士などが、
ワンストップの相談会を被災地
のあちこち移動しながら開催。

被災地は広い！

1チームでは間に合わない。
ワンパック相談隊を増やすには

有志の専門家ボランティアを集める

どうやって？社会的認知が弱い

士業団体が、連携する枠組みを作るか。

組織の機関決定に時間がかかりそう

組織連携を目指す

前例がない→説明が困難
組織間の相互理解が困難
組織決定に時間がかかる

有志専門家の熱意が、壁を破り
障害を超えて翌年9月に設立
復興は、山場を越えようとしていた。

相談案件の取り扱い

検討会議での協議



専門分野とのマッチング



各組織から派遣者を推薦



相談者と調整後派遣



派遣報告＋ケース検討

多様な復興プロジェクト

被災マンション再建

弁護士・建築士・司法書士・不動産鑑定士

住宅共同再建

建築士・税理士・司法書士

地滑り住宅地

土地家屋調査士・弁護士・まちづくりコンサル

密集市街地

土地家屋調査士・弁護士・建築士

付属研究会

1996年12月発足
研究者＋コンサルタント
＋士業実務家で構成
研究会・シンポジウム開催
復興Q&A等の出版

3年経つと相談が激減

役目は終わった？
苦勞して作ったのに！
全国に呼び掛けよう！



2000年東京シンポジウム
全国被災地行脚

各地に士業連携が生まれる

静岡県東海地震対策士業連絡会
災害復興まちづくり支援機構（東京）

新潟県災害復興支援士業連絡会
神奈川県大規模災害対策士業連絡協議会
宮城県災害復興支援士業連絡会
広島県災害復興支援士業連絡会

東日本へ







事前復興～和歌山







新島山陽大学
まちづくり支援機構の取り組み
～東日本支援の経験から～
2019.10.19
神戸まちづくり研究所 野崎 隆一

設立25年目の課題

- 親会との関係維持
- 次世代メンバーの開拓
- 行政との連携
- 災害以外の社会課題